

なんだかんだでキスしてくれる
あなた想いのイケメンお姉ちゃん

2020/12

同人音声サークル『ウラオモテ』

主人公、姉の部屋のドアをノック。

開ける。

姉、落ち込んだ顔の主人公を見て、優しい声で。

【全体的にゆったりと、優しい喋りで】

《◆正面/50cm》

イケメン1 「どした？ ヤなことあった？」

イケメン2 「いいよ、こっち来て。お姉ちゃんが撫でてあげる」

主人公、姉の前に座る。

姉、主人公の頭を撫でる。

《◆正面/30cm》

イケメン3 「よし、よし……大丈夫だよー？」

イケメン4 「お姉ちゃんが、そばにいるから……な？」

イケメン5 「よし、よし……」

イケメン6 「てゆうか、たまには笑顔で部屋入ってこいよー」

イケメン7 「落ち込んだ顔だと、可愛くないぞー？」

イケメン[∞] 「くす。拗ねちゃった」

イケメン⁶ 「お姉ちゃんからしたら、いくつになっても、お前は可愛いままなんだから」

《◆正面/10cm 顔を近づけて、ねっとり》

イケメン¹⁰ 「可愛い笑顔……見たいなー」

イケメン¹¹ 「毎朝、『おはよう』って言ってくれるときは、最っ高の笑顔なのに……」

イケメン¹² 「おやすみの前にそんな顔されたら……アタシも眠れないじゃん」

イケメン¹³ 「お姉ちゃんに、何かしてほしいことある?」

イケメン¹⁴ 「うん。言ってるらん?」

《◆正面/30cm》

イケメン¹⁵ 「……キス? また?」

イケメン¹⁶ 「だめ。それ以外」

イケメン¹⁷ 「いつも言ってるけどさあ、フツーそういうのは、やっちゃダメなんだって」

イケメン¹⁸ 「なんでって、ほら……家族、だし?」

イケメン¹⁹ 「法律的に、なんか、いけなかった、はず……多分」

イケメン²⁰ 「や、昨日やってあげたのは、お前がめちゃくちや落ち込んでたから……仕方なく?」

イケメン 21 「つて、わざと落ち込むな。わざとめちやくちや落ち込むな」

イケメン 22 「やめろ……あざといのやめろ」

イケメン 23 「騙されないぞ」

イケメン 24 「いくらそういう顔しても、もうキスはしない。分かった?」

イケメン 25 「え? お姉ちゃん嫌い?」

イケメン 26 「は?」

イケメン 27 「へ?」

イケメン 28 「や、え、へっ?」

イケメン 29 「そこまで言わなくてもいいじゃん」

イケメン 30 「別に見捨てたわけじゃないって」

イケメン 31 「ほら、撫でてあげてるし、どうにか励まそうとしてるし……っ」

イケメン 32 「でも……キスはさ、ほら……もっとう……大切にしない?」

結婚する相手とする事だから……?

イケメン 33 「そうそう。好きな人と、結婚する時にするようないつだから。分かってんじゃん」

だから、お姉ちゃんとならOK!

イケメン 34 「ん? だから? あー分かってねえなお前」

イケメン 35 「だからじゃないんだよ」

お姉ちゃんと結婚する！

イケメン 36 「はいはい、将来はお姉ちゃんと結婚ねー、勝手に考えてればー？」

イケメン 37 「……大きくなったら、そうも言ってくれなくなるでしょーに」

イケメン 38 「純粹なんだか小悪魔なんだか」

（大きくため息をついて、やれやれ、と）

イケメン 39 「はあ……じゃあ、一回だけな」

イケメン 40 「一回キスしたら、お姉ちゃんのこと、また好きになってくれる？」

イケメン 41 「そっか……なら、仕方ない」

イケメン 42 「こっち来て。布団に隠れるの」

イケメン 43 「お母さん、ノックしないで入ってくるから……見つかったら大変じゃん」

布団にもぐってもぞもぞ。

《◆正面/10cm》

イケメン 44 「ん……はあ……ん……」

イケメン 45 「はい。いいよ」

イケメン 46 「うん……一回だけ……来て？」

《◆正面/0cm キス》

イケメン 47 「ん……ちゅ……」

(主人公に何度も迫られるキス)

イケメン 48 「んっ……ちゅぶ、ちゅ……ちゅ……ん、ちゅ」

イケメン 49 「分かってたようも、ちゅ……だから隠れたんだ

よ……ちゅ、んちゅ……んゝ、ちゅぶ、ちゅ……ん
ちゅ」

姉、そつと主人公を撫でる。

イケメン 50 「はいはい、なでなでもしてあげるから……ちゅ……
もつとこつち来て？ ちゅっ、ちゅ……お姉ちゃんのこと、抱きしめて？」

イケメン 51 「ちゅ……ちゅう……ちゅぶ、ちゅ」

イケメン 52 「よし、よし……ちゅ……よし、よし……ちゅぶ、
ちゅ……ん、ちゅ……いい子、いい子……んー、
ちゅ……ちゅぶ、ちゅ……ちゅうう、はあ」

《◆正面/10cm》

イケメン 53 「ふふ。可愛い笑顔、やっと見せてくれた」

イケメン 54 「元気になった？」

イケメン 55 「そっか」

イケメン 56 「元気になったんなら……キス、もうやめていいよ
ね？」

イケメン 57 「やだ？」

イケメン 58 「もつとっ。」

イケメン 59 「いっぱいっ。」

イケメン 60 「でも、もう落ち込んでないでしょ？」

イケメン 61 「ふふ。またわざと落ち込んで……」

イケメン 62 「しょうがないなあ……そんな顔されたら……」

《◆正面/0cm》

イケメン 63 「（囁き）お姉ちゃんも、抱きしめたくなるじゃん」

（今度は姉から食うようなキス）

イケメン 64 「はむ……ちゅ……はあむ……ちゅ……ああむ……
ちゅ」

イケメン 65 「はむ、はむ……はあむ……ちゅぷ、ちゅ……
ちゅうう……あむ、ちゅ」

イケメン 66 「温かい……ちゅ……体も、唇も」

イケメン 67 「あむ、ちゅう……ちゅぷ、ちゅ……溶けそう……
ちゅっちゅ……ん——、ちゅ……んっ、ちゅ」

イケメン 68 「こんなに体くっつけてると、お前がドキドキしてる
の、バレバレだな」

イケメン 69 「ん、ちゅ……ちゅう……」

イケメン 70 「お姉ちゃんも？ ふふ。気のせいでしょ」

イケメン 71 「はむ……ちゅ……はむ、あむ、ちゅう……はあむ、
ちゅう……はむ、ちゅ……ん、ちゅっ……ん——、
ちゅ」

イケメン 72 「てゅーか、いつになったら飽きるの」

やめてほしくないと言わんばかりにキスしてくる

主人公。

イケメン 73 「ん、ちゅ……んー？　ちゅ、んっ、ちゅ、やめてくれないの？」

イケメン 74 「ちゅ……そろそろ、やめよ？　ちゅ……やめ、ちゅ、ちゅ、んちゅ……もう♪　好きすぎかよ♪」

イケメン 75 「ちゅ……分かったから……ちゅ、ちゅぶ、んー♪
ちゅ……ん、ちゅ……んく、ちゅぶ、ちゅ……
ちゅうう……ちゅっちゅ……はあ」

《◆正面/10cm》

イケメン 76 「じゃあ、このまま寝る？　いいよ、別に。お姉ちゃんのベッドでいいなら、このまま寝ちゃえ」

主人公、シーツにすりすり。

イケメン 77 「う、シーツの匂い嗅ぐな」

主人公、姉にすりすり。

《◆正面上/10cm》姉の胸元に主人公の顔が来るイメージ》

イケメン 78 「や、アタシの匂いも嗅ぐな」

イケメン 79 「ああもう、どこまで甘えん坊なんだ……」

姉、優しく主人公を撫でる。

イケメン 80 「好きでいてくれるのは嬉しいけど……大人になるまでに、ちゃんとお姉ちゃんを卒業するんだぞ？」

イケメン 81 「そういうもんなの」

イケメン 82 「今、好きな人いないの？ アタシ以外に」

お姉ちゃん。

イケメン 83 「アタシ以外につて」

いない……。

イケメン 84 「んーいないかー。でも、そのうち出会っよ。もっともっと、心の底から、大好きだなあって思える人が」

イケメン 85 「今はなくても、そのうち、ね」

イケメン 86 「そういうもんなの」

イケメン 87 「ん？ 別にそうなくても、お姉ちゃんは消えないよ」

イケメン 88 「ほんとだって」

イケメン 89 「心配？」

イケメン 90 「消えるわけじゃないじゃん。だって、お姉ちゃんなんだから」

イケメン 91 「ふふ。そういうもんなの」

イケメン 92 「将来のことは、将来考えればいいよ」

◆◆正面/0cm 『今は』で口元まで動いて、優しい
キス

イケメン 93 「今はー……んちゅ……（囁き）お姉ちゃんに、甘えなよ」

主人公、姉の言葉に甘えてキスを迫る。

（より激しく、主人公に迫られるキス）

イケメン 94

「んっ……ちゅ、んちゅ……ちよ、んう、ちゅ、ちゅ、
ちゅ……こらあ、ん、ちゅぶ、ちゅ……はあ、んっ、
ちゅ……ちゅぶ、ちゅ……ちゅうう」

イケメン 95

「はあ、あんまり乱暴なのはだめだぞー？　ちゅ……
もっと優しく、しよっ」

イケメン 96

「優しくて、長あいキス」

（じつくりと、唇をずとくっ付けるキス）

イケメン 97

「ん……ん……ん……ちゅ」

イケメン 98

「唇、ずとくっ付けて」

イケメン 99

「ん……ん……ん……ちゅぶ」

イケメン 100

「ん……ん……ん……ちゅっ」

イケメン 101

「お前の唇、やわらかいな」

イケメン 102

「ん……ん……ん……ちゅう」

イケメン 103

「ん……ん……ん……ちゅぶ、ちゅ」

イケメン 104

「（囁き）放したくない」

イケメン 105

「ん……ん……ん、ん……ちゅう」

（いつかは終わらせないといけない関係なのに、

自分もまた主人公に甘えてしまっている）

イケメン 106

「はあ……アタシもアタシだなあ」

イケメン 107

「ごめんなー、こんなお姉ちゃんで」

イケメン 108

「ん……ちゅ……別に……独り言」

イケメン 109

「ん……ちゅうう」

イケメン二〇 「次で最後な」

イケメン二一 「（囁き）ちよつとだけ、大人なキス、しちやおつか」

（舌が触れそうで、でも触れない、唇をむさぼる

キス）

イケメン二二 「はあ……んー、ちゅぷ……ちゅうう……はむ、ちゅぷ……あ、ん、はむ、ちゅ、ちゅう……れる、ちゅ……んちゅぷ、ちゅうう……ん、ちゅ、はあ」

《◆正面／10cm》

イケメン二三 「はい、今日の分は終わり」

イケメン二四 「だめ。もうキスしない。これ以上キスしたら、眠れなくなるでしょ？」

イケメン二五 「どうしてもキスして欲しいんだったら……また明日、お姉ちゃんに甘えてよ」

イケメン二六 「甘え方が下手だったら、キスしてあげない」

イケメン二七 「でも、お姉ちゃんをその気にさせてくれたら……そしたら……」

《◆左耳／耳元 囁き》

イケメン二八 「眠れなくなるまで、キスしてあげる」

《◆正面／10cm》

イケメン二九 「なにニヤニヤしてんの。早く寝ろ」

イケメン二〇 「ほら、ぎゅーってしていいから」

抱き合う二人。

《◆左耳／耳元　ここから囁き》

イケメン121　「ん……はあ……ふう……」

イケメン122　「相変わらず抱き心地いいなあ」

イケメン123　「はあ……♪」

大好き。

イケメン124　「んー？　はいはい、お姉ちゃんも、大好きだよ」

イケメン125　「おやすみ」

（60秒。寝息のアドリブ）

イケメン126　「すー……すー……（★60秒）」

（01-END）